



須賀川小の教育

2024



黒羽学園小中一貫教育目標

【黒羽の人と地を育む教育の実現】

教育スローガン みんな **か** がやけ(輝け) 須賀川っ子

本校教育目標

- **す** すんで学ぶ子
- **か** んばりぬく子
- **わ** を大切にする子

校訓 「二光相照」
心身の二光輝け相照らさん

目指す教師像

- ・人間性豊かで信頼される
- ・授業力・指導力のある
- ・教育的愛情と使命感をもった 教師集団

目指す学校像

小規模のよさを生かした一人一人が輝く学校

目指す児童像

自分で考え・決めて・行動する、心身ともにたくましい子供



今年度の努力点と具体策

2024キーワード
「自分で」「ともに」「やってみる」

学校教育の指針 **小規模のよさを生かした主体的に学ぶ力を育てる教育**

～全ての教育活動の前提として～

児童及び教職員が安全な環境の中で、安心して学校生活を送れる危機管理体制の確立

～かがやく子を育成するために～

- へき地・複式の小規模校の特性を生かし、創意と工夫に満ちた学校経営
- 主体的に学ぶ力の育成を重視した、特色ある教育課程の編成 ○様々な体験活動の実施
- 小中一貫教育を推進し、9年間を通した教育活動の充実 ○地域社会に貢献できる児童の育成
- ～各取組を効果的に推進するために：教育の基盤～
- 家庭・地域との連携・協働により、「地域とともにある学校」づくりの推進 ○教員の資質・能力の向上



◎重点内容

目指す姿：自分で考え、課題に向き合う子供

目指す姿：自分で目標をもち、粘り強く取り組む子供

目指す姿：自分とふるさとを愛し、思いやりをもって人と接す子供

育成を 目指す 資質・ 能力	生きて働く「知識・技能」の習得	各教科の基礎基本を定着させ、生活の中で活用している。 ○できる・分かる・生かせる、わくわくする授業作り ・一人一人のよさを引き出す学習支援・学習形態 ・一人一台端末の有効活用 ・3年生から6年生への一部教科担任制の導入 ○インクルーシブ教育の視点に立った授業作り ・少人数学級での個別最適な学びの推進 ・ユニバーサルデザインの授業の展開	基本的な生活習慣や基本的な運動能力を身に付けている。 ○立腰教育の充実(小中一貫教育共通理解事項) ・立腰体操の実施 ・授業や集会活動開始時の立腰の意識化(黙想との組合せ) ○個々の能力、適性に応じ体育科指導法の工夫と充実 ・体力検査データ分析に基づく運動能力の育成 ○安全(交通、防災、感染症等)についての知識と適切な対応の習得 ・「生活習慣チェック」と交通安全教室の実施	他者によりよく関わることができるコミュニケーション力を身に付けている。 ◎よりよく他者と関わる場の意図的設定 ・あいさつ名人の設定 ・仲良し班活動の設定(運動会、全校生遊び等) ○社会的自立に向けたキャリア教育の充実 ・発達段階に応じた9年間を見通した系統的な全体計画と校内指導体制の確立 ・家庭・学校・地域での「マイワーク」活動
	「思考・判断・表現力」の育成	自分の思いや考えを、自分の言葉で伝えている。 ○思考力・判断力・表現力を育成するための言語活動の充実 ・読解力の育成をねらいとした全校生による取組(全校生一斉テスト、ノー原稿での発表) ・言葉の力を育てる読書活動の充実 ・対話を通して学びを深める場面設定 ◎生活科、総合的な学習の時間、自主学習での探究的学習 ・教科横断的カリキュラムマネジメント(小中一貫教育共通理解事項) ・協働的に学び合う授業	自分を理解し、よい方法により生活習慣を身に付け、運動能力を高めている。 ◎自己指導能力を育む児童指導の充実 ・個別のステップの設定と積み重ね ・自己決定(選択、判断)の場設定とフィードバック ・特別活動を中心とした児童の決定が反映される活動の実施 ・危険を予測・回避し、安全な行動がとれる児童の育成 ○めあてをもった体力づくりの実践 ・さわやかタイムでの長距離走、長縄跳び等の実施	自分を理解し、自分らしさを発揮している。 ◎自己有用感を高める指導の工夫 ・学校行事や特別活動における児童の主体的参加を促す場の設定 ・「ありがとう day」の活動の充実 ○英語教育の充実 ・「Eタイム」「英語 day」「中学校英語教員の乗り入れ授業」の実施 ・小中一貫した英語教育の推進、英検5級へのチャレンジ ○黒羽学園小中一貫教育の推進：小中連携：幼保小連携 ・小規模校同士の遠隔教育の推進・交流活動の実施(小中一貫教育共通理解事項)
	学びに向かう力・人間性等の滋養	子供も保護者も教職員もともに学び、高めようとしている。 ○主体的な学校課題と教職員研修の推進 ◎家庭との連携 ・授業と家庭学習の連動：家庭学習強調週間の実施等 ・親子ともに取り組むメディアコントロールデー (小中一貫教育共通理解事項) ・PTA研修の充実：研修テーマ「親子の関わり」	子供も保護者もともに心身の健康づくりに取り組もうとしている。 ○主体的な運動に関する活動への参加と実践 ◎家庭とともに取り組む時間管理能力の育成 ・メディア使用時間や就寝時間を意識した生活をする意識化(就寝時刻 1.2年生：21時 3.4年：21時30分 5.6年：22時) (就寝時間1時間前のメディア使用終了 メディア使用時間の減少)	子供も保護者も教職員もともに地域に関わろうとしている。 ◎地域に貢献できる児童の育成：「ふるさと学習」の推進(小中一貫教育共通理解事項) ・体験活動の充実(ふるさとウォーク、雲巖寺俳句教室、茶摘み体験等) ・地域の人・もの・こと等を活用した教育活動の充実(各教科) ○地域交流活動の促進とPTAとの連携 ・学校行事、学年部行事、地域の伝統芸能、地域団体との協働等

地域とともにある学校づくり○小中一貫教育・コミュニティスクールの推進○地域人材・素材の活用○情報提供活動の充実○安心・安全な学校環境整備